

信愛(しんあい)

With コロナの中でも精いっぱい！ ※「With～」は「～と共に」という意味です。

長かった休校期間ですが、いよいよ学校再開の足音が聞こえてきました。みなさんもご存じの通り、来週(5月25日)から、準備登校が始まります。入学式ぶりのみなさんとの再会なので、先生たちもみなさんに会えることをとっても楽しみにしていますよ。

みなさんも学校再開に向けて、5月11日からは学習プランニングシートを参考に各教科の勉強を一生懸命進めていると思います。予習が中心になるので分かりにくいこともあったと思いますが、自分で調べながらがんばっている子、分からないところは質問して進める子など自分なりに考えて学習を進めている様子をとっても素晴らしく思います。

学校にも相談タイムが設定してありました。何人かの子が質問してくれましたので紹介します。



数学の課題の「小学校算数チャレンジ」の半円の面積が違うような、、、



数学の教科書13ページに書いてある、「ある時刻から-3時間後の時刻」は、一を使わないで表すと「3時間前の時刻」と表せる、というのがよく分かりません。

先生が完全に間違えました、、、

ホームページにもアップしましたが、半円なので「円の面積の半分」になりますね。

気付いてすぐに連絡してくれたので、みなさんにもお知らせがはやくできました。ありがとうございます！

ややこしくてこんがらがってしまうところですね。カードの「裏の裏は表」をイメージするとよいです。

「プラスとマイナス」「前と後」のように、反対の性質をもった数量は、次のように同じ意味の違う言葉に直すことができます。

-3時間 後

①反対にする ↓

+3時間 前

②意味が変わらないように、こちらも反対にする

ワークは直接書き込んでよいのでしょうか？

ワークの扱い方は教科によって違います。数学でいうと、直接やっても別のノートにやってもどちらでも大丈夫です。自分でできるまで取り組むために、自分のやりやすい方法で取り組んでください。詳しくはどの教科もオリエンテーションで説明します。

片方を反対にするだけだと意味が正反対になります。なので、つじつまを合わせるために、もう一方も反対にすれば、もとの意味と同じになります。まさに「裏の裏は表」です。この考え方は、後で引き算を楽にするために活躍しますよ。

いま課題に取り組んでいて分からないところがあっても大丈夫ですよ。それはダメなことではなくて、授業をする前に「分からないところが分かった！」というステキなことなのです。それが分かったからこそ、授業を受けるときにより集中して聞いたり、質問したりと充実した学習につながるはずです。

コロナ感染症対策で学校にはこられませんでしたが、みなさんは自分で考えて取り組んでできました。その努力は必ずこれからの自分につながっていきます。学校が再開しても、全てがこれまでと同じ生活ができるというわけではありません。コロナ感染症の対策を一人一人がしっかりと行う中で、コロナとともに生きる「新しい生活」を！私たち自身の手で充実した学校生活を創り出していきましょう！！

これからどんな素敵な事実に出会えるか 楽しみです